

来開往迷糸

緑友

収穫の時?に考える.....

全国印刷緑友会 会長 岩重昌勝



波乱の9月が終った。

そしてその波はより激しく全てを押し流すかのようである。わが国では福田首相が在任一年を待たず、「貴方とは違うはず」との名言?を吐いて政権を放り投げ、ドタバタの全国街頭演説の末、総裁選を勝ち抜いた麻生太郎氏が首班指名を受け、その翌日には良くも悪くも政治をシヨにされた小泉元首相が衆議院議員を引退した。後継は27歳の次男を据えるそうだ。若し当選したら4代目である。正に小泉家にとつて家業は政治業と言える。食の安全に外れたスキャンダルが続く多くの経営者が記者会見でフラッシュの洪水の中「真に申し訳ございませんでした。」と頭も男も評判も信用も下げていくのに次から次と改まらない。今度は日本人の主食た

友会次期会長予定者、作道孝行君によれば今回の事件以前に食の偽装で世間を賑わした船場吉兆のことを酒を飲みながら痛烈に批判していたとの事。今回の「米」の問題は食糧制度即ち生産米を国が高く買い上げ国民に安く販売するという制度化では米の流通は国家が完全に管理していたので起こりえなかったが規制緩和された流通が自由になったがために起こされた悪行。複雑な経路は国家も把握しきれなくなり、「米ロンドン」なる言葉が生まれる始末。そう、「米」はその昔のわが国では「お金の代わり」だったので、焼酎王国鹿児島で営む私にとっては偽装米で作られ全て自主回収を余儀なくされた焼酎メーカーが気の毒でならない。一杯でも多く焼酎をおおる日々である。片

やアメリカはもつと悲惨であり、これからもつと悲惨な未来が待っている。2001年の9月11日の惨事も9月でありそれからの対テロ戦争は今でも続けられている。その同じ9月に我が世の春を謳歌しウォール街に君臨していた大企業証券会社の三社が消滅し、残る一社も業態転換を迫られ、アメリカや世界の金融を牽引していた「投資銀行」なるものがこの世から姿を消した。そして今日26日、新たに米貯蓄貸付組合(S&L)最大手が業務停止命令を受け全米史上最大の銀行破綻となった。信用性の極めて低い紙屑同然の債権を細切れにし他の債権の中に忍び込ませ第三者へ転売する。販売テクニックによつて価値を高めさせ価格が上がっていく。実態は紙屑だからバラバラで泡のように弾け飛び大暴落。元々価値の無いものをアメリカ政府が買い取るという処方箋を議会に通そうとしているが一体いくらの価格で買い取るのか?わが国には「情

全国印刷緑友会 <http://www.greenfriend.jp/>

〈今後の行事予定〉
2009年2月14日(土)
第40回 全国印刷緑友会
名古屋セミナー

発行: 全国印刷緑友会
責任者: Y-ING 等価メディア研究会
井上雅博
編集人: Y-ING 等価メディア研究会
齊藤理

FAX不要な方はこちらへご連絡下さい
masatomo@kobundo.net

リレーエッセイ

私と緑友会

全国印刷緑友会 近畿ブロック担当 藤井康央
(京都青年印刷人月曜会)



6年前の秋、行き当たりばつりの多かった京都青年印刷人月曜会には珍しく、就任1年半前に月曜会会長の打診が来ました。これには理由があり、森田先輩が月曜会主管京都総会にて全国印刷緑友会の会長の任に就くことが決まっていたので、グループ長である月曜会会長も早々に決め、準備することが必要な為でした。それからですから、京都以外の緑友デビューは大阪総会で、同年度には名古屋大会、福岡セミナーに行った記憶があります。

森田先輩の緑友会会長と同時期にグループ長をしていたので、滝本先輩共々一緒に全国各地ゴルフ遠征に行き、Wペリアの強い京都3人衆で優勝は10回を軽く超えていると思います。京都から持ち込んだ「滝やんカップ」を京都に持ち帰り、怒られるわ、荷物になるわ、空港のセキュリティに引っ掛かるわ、大変でした。さて、この緑友(FOG)を読んでおられる方の中でも、まだ緑友のイベントに参加したことが無い方や少ない方が大勢いらっしゃると思います。行き始めの頃は、知らない人ばかりで、形だけの名刺交換で終わることが多いと思いますが、きれいな事ではなく、決して損は無いと思いますし楽しいです。

まずは地方地方の美味しい「モノ」が食べられる。これだけでも十分ですが、わざわざ時間とお金を掛けてくる変な人が多く、こういう変な人は大概パワーがあります。そして、そのパワーを貰え、勉強にもなります。

俺は全国区で商売していないから全国は関係ないとか難しい言い訳は良いから、水戸黄門、寅さん、釣りバカ、日本人は全国漫遊が好きなら人種だろうから、気軽に、美味しいモノを食べに参加してください。

参加して下さいかあ...なんてスマートな文章になったんだろう(笑)

最後になりましたが、改めて、ぎふ翠陽クラブさん50周年おめでとうございました。素晴らしい式典と久しぶりの岐阜を3日間楽しませて戴きました。

次は名古屋ですね。こども美味しい「モノ」が多い。拜。

去る9月13日、全国印刷緑友会の皆様方には大変お忙しい中、ぎふ印刷翠陽クラブ創立50周年記念式典に、ご参加いただき誠にありがとうございました。当日は、おかげさまで誠にありがとうございました。また、無事終了することができました。これもひとえに全国印刷緑友会岐阜大会にご参加いただいた皆様、印刷業界におきましてご参加いただきましてご期待をいただきました。皆様、ありがとうございます。印刷翠陽クラブ会員一同総力を



創立50周年記念式典・全国印刷緑友会 岐阜大会を終えて

ぎふ印刷翠陽クラブ創立50周年記念式典 第50回全国印刷緑友会岐阜大会 実行委員長 久世裕之

友会の皆様方をはじめ、ご来賓の皆様、当クラブのOBの諸先輩方の皆様ご協賛いただきました各企業の皆様のお力添えのおかげで、誠にありがとうございました。印刷翠陽クラブ創立50周年記念式典に、ご参加いただき誠にありがとうございました。印刷翠陽クラブ創立50周年記念式典に、ご参加いただき誠にありがとうございました。印刷翠陽クラブ創立50周年記念式典に、ご参加いただき誠にありがとうございました。

持つきである。また我々の業界は、「印刷文化人の人財を育てていかなければいけない」、「人間尊重の経営が一番」とおっしゃっておられました。印刷業界の社会的地位の向上が私の目標であるとも申されておりました。一社だけではこの厳しい社会状況乗り越えていけない、業界あげて取り組んでいかねばならないと最後に締めくくられておられました。大変心に響く業界の大先輩のお言葉でありました。

祝賀会では当会の創立50周年を記念する鏡割りをはじめ、岐阜市の道相談役の基調講演を、一般観覧者を含めまして約500名という大勢の参加者を募り盛大に行うことが出来ました。藤田相談役は印刷会社は文化産業で無ければならない。印刷文化発展のために誇りを

最後にありますが当日は、いろいろと行き届かぬ点多々あったかと存じますが、ご容赦のほどお願い申し上げます。今後も当クラブでは、よき伝統を引き継ぎながらも新たな時代に向うべく知性と教養を身につけ、情熱を持って印刷及び印刷関連業の更なる発展に寄与できるように会員一同努力して参る所存でありますので、これからも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

事業承継で、次世代に渡してあげられる物は、財産ではない。小判を、あの世に持つていけないように、お客様の信頼を継承してこそ、継続するための糧を得られるというものだ。

我が会でも、何を伝えていけるのか、記念誌のコンテンツに表したいものである。日日は好日。

(徹熊)